

平成27年度 維持管理状況(7月1日～31日)

<工場設置計器の測定結果>

清掃工場名等	焼却能力 t/日	炉番号	処分した一般廃棄物	ごみ焼却量	燃焼室ガス温度	集じん器入口ガス温度	排ガス中の一酸化炭素濃度(煙突) (O2 12%換算)	冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去
				t	℃	℃	ppm	
光が丘	300	1号炉	可 燃 ご み	2,226.56	855～1,068	158～160	0～50	ボイラ設備の除じんはボイラストロブロー又はボイラ植打装置により毎日実施する。ろ過式集じん器の除じんは空気式自動洗浄装置により毎日実施する。
		2号炉		57.20	—	—	—	
目黒	600	1号炉		7,051.70	916～1,059	159～161	3～11	
		2号炉		6,921.93	934～1,057	159～161	7～16	
有明	400	1号炉		5,994.28	995～1,135	172～176	3～46	
		2号炉		2,542.26	1,035～1,149	167～175	3～58	
千歳	600	1号炉		15,073.75	915～1,108	158～162	6～15	
江戸川	600	1号炉		8,012.73	879～973	170～171	0～48	
		2号炉		4,735.89	848～928	170～171	0～6	
墨田	600	1号炉		8,283.17	985～1,103	169～171	0～1	
北	600	1号炉		4,561.81	938～1,175	153～163	4～35	
新江東	1,800	1号炉		17,901.42	898～1,166	166～172	0～62	
		2号炉		13,678.48	952～1,162	167～172	0～32	
		3号炉		13,946.00	840～1,159	167～173	0～32	
港	900	1号炉		456.39	943～1,080	167～168	3～22	
		2号炉		9,114.55	929～1,177	167～170	2～20	
		3号炉		9,010.51	942～1,192	166～168	1～27	
豊島	400	1号炉		5,678.08	856～920	157～171	3～67	
		2号炉		5,943.05	861～916	167～168	2～61	
渋谷	200	1号炉		5,346.77	940～1,031	143～155	0～40	
中央	600	1号炉	8,622.73	903～1,167	147～153	3～31		
		2号炉	8,515.88	849* <sup>①</sup> ～1,077	148～166	2～23		
板橋	600	1号炉	523.19	926～1,108	162～166	0～3		
		2号炉	7,970.59	907～1,125	160～165	0～17		
多摩川	300	1号炉	1,608.78	859～994	155	2～11		
		2号炉	367.17	878～930	155	1～3		
足立	700	1号炉	9,127.56	878～1,089	169～182	2～31		
		2号炉	4,513.56	893～1,041	171～194	1～28		
品川	600	1号炉	定期点検補修					
		2号炉	8,426.84	887～1,035	156～172	0～36		
葛飾	500	1号炉	1,869.31	873～1,053	158～162	4～41		
		2号炉	7,097.53	907～1,047	157～176	4～21		
世田谷	300	1号炉	2,402.59	811* <sup>②</sup> ～1,050	165～181	0～69		
		2号炉	2,426.13	926～1,080	167～173	0～147* <sup>③</sup>		
大田	600	1号炉	8,120.00	810～1,005	155～172	4～55		
		2号炉	8,924.98	830～1,022	150～173	5～41		
破碎ごみ処理施設	180	1号炉	712.44	858～908	156～162	2～61		

測定値が維持管理計画値を超過した(下回った)理由(\*)

平成27年度 維持管理状況(7月1日～31日)＜工場設置計器の測定結果＞より

- ① 中央清掃工場 2号炉 7月6日(月) 4:00  
燃焼室ガス温度が、849℃を記録した。  
原因は、ごみ質の変動により燃焼が不安定になったことによる。  
直ちに、助燃バーナの運転、燃焼空気量の調整及びごみ供給量の調整を行い燃焼改善を図った。  
その結果、維持管理計画値以上に回復した。
- ② 世田谷清掃工場 1号炉 7月17日(金) 16:00  
燃焼室ガス温度が、811℃を記録した。  
原因は、ごみ搬送装置の異物除去作業を行っている際に、助燃バーナ及びボイラ起動バーナによる温度維持を行っていたものの、ごみ供給量が過少になったことによる。  
直ちに、ごみ供給量の調整を行い燃焼改善を図った。  
その結果、維持管理計画値以上に回復した。
- ③-ア)世田谷清掃工場 2号炉 7月10日(金) 12:00  
排ガス中の一酸化炭素濃度が、煙突入口連続測定器で102ppmを記録した。  
立上げシーケンス完了後、自動燃焼制御が安定しなかったことによる。  
直ちに、熱分解空気量、燃焼熔融炉用空気量及びごみ供給量の調整を行い燃焼改善を図った。  
その結果、維持管理計画値以下を維持した。
- ③-イ)世田谷清掃工場 2号炉 7月20日(月) 13:00  
排ガス中の一酸化炭素濃度が、煙突入口連続測定器で147ppmを記録した。  
原因は、ガス化炉の種火バーナの失火により炉内空気流量が一時的に少なくなり、燃焼が不安定になったことによる。  
直ちに、ごみ供給を一時停止し、種火バーナの点検後、再点火を行い燃焼改善を図った。  
その結果、ごみ供給を再開し、定常運転に移行した後は、維持管理計画値以下を維持した。